

宇治情報

No.103

(体験集通算 453号)

宝 蔵

霊牌供養はすばらしい

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹



宝蔵会の皆様には日頃から宇治別格本山の諸活動に、ご愛念、ご協力を賜り、感謝申し上げます。さて、今月は宝蔵神社の霊牌供養につきまして述べさせていただきますと思います。霊牌は、当初は「霊票」なる名称で彼岸などに先祖供養を行っていた地域もありましたが、

昭和三十一年二月に谷口雅春先生より「霊牌」という名前を決めていただき、その形式や、記載方法についてご教示をいただき今日に至っております。生長の家では万教帰一

の教えから、宝蔵神社に霊牌をお祀りして真理の言葉の読誦で御霊様を供養する「霊牌供養」が広く行われてまいりました。

真理の言葉の読誦による供養につきまして、『人生を支配する先祖供養』の四十一頁に次のように示されています。

「位牌にその人の俗名及び戒名を書いて、一度、それに招霊して祀っておくと、その招霊した霊魂の霊波がその位牌に印象されており、謂わばその霊魂の霊的振動が常にそこから放散されている訳であるから、われわれ現世の者が霊界の祖先の霊に『甘露の法雨』を読誦してあげたり、何らかの意思を通じて話しかけると、その位牌に向かつて、名前を称えて話しかけてあげると、現世のわれわれと霊界と交信するアンテナをつくることになってよいのである。」

このアンテナを介する念の感応につきまして、昭和三十二年八月の『聖使命』の中で、ベルギーの小説家メテリンクが（次頁に続く）

晩年に心靈現象の実験を行ったことが紹介されています。要約しますと、「ある人に催眠術をかけて深い暗示感応状態にしておき、被術者から相当はなれたところで、被術者の肖像写真を爪をもって強く引つ掻きますと、写真と同じ位置の被術者の皮膚に赤いミニズ腫れができるので、この場合の肖像写真は『靈牌』に当たり、その人の自筆の文字、写真等には、その人自身と同じ靈

随想

心 弾 む

宇治別格本山にて土日に行われている「一日講話」では「わがたましいの底の底なる神よ。無限の悦び湧き出でよ!」と言ってから、笑いの練習がはじまります。毎講話の前に笑いを行うので必ず皆様復唱されますが、自分自身の底に・奥に神がいるというのが生長の家で伝えられる真理であります。神の子とは神そのものだと云う。わかりやすく例えてくださっているものが

波が発散しており、同波長の靈波は感応するのでありますから、靈牌に対して想念された愛念や、『真理の言葉』は靈魂の業や罪を浄めたりすることが出来るのであります。このように説明されておりまして、靈牌を介して真理の言葉を読誦することの意義が示されておりまして、多くのご先祖の御靈様を靈牌祭祀の供養をしていただきたいと思

います。靈牌供養により、宝蔵神社にお祭りされました御靈様は、日々行われております聖経読誦の供養によりまして、ますます自由自在の境涯に昇られ、さらに、本尊神靈にまします、諸神諸菩薩様のお導きとお護りを受けて、靈界から人類光明化運動・国際平和信仰運動にお働きくださるのであります。

練成部 練成課

田 野 靖 彦

『新版真理』七巻「神我」一体感の体験の事例」に書かれております。

ある男性が「自分は神の子だと云うことはわかるが、宇宙に満つる実相そのもの、神そのものと云うことはどうしても分らない。自分はどこまでも神の子であって、神そのままではない、神より出でたところの一層小さいものだと云う気がする」と言われる。雅春先生が「君は淀川の水は、淀川の水が流れ



ているのだと思っか。淀川の水は実は、琵琶湖の水が流れているんだよ。本当は淀川の水なんてものはありはしないのだ。ただ琵琶湖の水が淀川に於いて流れているときにそれを淀川の水と言うだけだ。(中略)宇宙大生命が谷口に於いて流れているときに『谷口の生命』と仮りに

呼ぶだけだ。(中略)大生命より小さいとか弱いと言つことはないのだ」と答えられております。「自分の生命」と思っているものは宇宙大生命(神御自身)が私(皆様一人ひとり)という表現体に流れ入っている状態を、「自分の生命」と思っているだけで「淀川の水」が無いように「私」はなく生かされてはいるばかり、常に無限の恩徳の本源と繋がり流れ入っている、一度たりとも離れたことがない生命として存在しているのだと気づかされるのであります。私たちは現象的にはそれらを忘れて生まれてきておりますが、ただ与えられているものの偉大さに気づくと、き自ずと湧き上がるのが感謝です。与えられているものを「ただ無条件に受け取る」ということがいかに大切かと感じるのであります。受け取るときの言葉が「ありがとうございます」でその心が感謝です。感謝が出来たとかできていないとか、それは救いの為の手段ではないのです。与えられているものを数えてお礼を言っているうちに病が癒される体験談を聞きますと、手段

ではない実感のこもった感謝になっているのだと感じます。

ある時、幽斎殿で神想観を厳修しておりますと「神の最高の自己実現」というコトバが浮かび上がってきました。神御自身が「最高の自己実現」と言われる存在の誕生を、どれだけお悦びになつただらうか!と悦びが湧いて来たのです。神の歓喜そのものという言葉

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

A. B (70代(女性))

久々の「一日講話」への参加、地区の誌友さんと三名で参りました。この宇治の静謐の中に浸つたとたん、魂の安堵と心の平安を頂けました。やはり時々この空気に浸りたいと思うのはご先祖様の導きでしょうか。

榎本講師の講話の中で「すべては神の導き」と教えていただきましたが、今

が実感を伴って溢れてきました。神が悦び、また「私」と思っているその中に神自身が顕れている、誰一人そこから離れたものはない祝福された存在現象の心が何を思っても脳が何に反応していても「私」という表現体を通して神の無限性を味わう実なる神の子は常にフクフクしているのだと感じずにはおれないでした。



回はより深く、しみじみと与えられたすべての「人・事・物」を、そのまま喜ん

で受け入れる気持ちが湧き上がって来ました。「周りの人、事、物はすべて自分である」その言葉も温かく、素直により深く入って参りま (6頁に続く)

7月 ご先祖と共に喜びの一日講話プログラム (会場：大講堂)

聴講希望者は、三密を避け感染防止対策を行った上、40名まで参加できます。

日付・曜日	日付・曜日	時間	講話及び行	講師	テキスト
1日 土	人間は神の子である	10:20~11:05	開会の祈り・実相と現象	岡田 浩二	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		11:15~12:00	神の子の自覚とは	阿部 秀輝	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	神の子を生きる喜び	鶴岡 俊光	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		14:00~14:45	神の子の光が世界を照らす ~神・自然・人間の調和する世界へ~	清水 志郎	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		14:45~15:20	「四無量心を行すす神想観」実修・閉会の祈り	清水 志郎	
2日 日	愛を与える 幸せな生き方	10:20~11:05	開会の祈り・神の愛に生かされて	樺本 一子	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		11:15~12:00	愛することから幸せが始まる	千羽 真平	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	千羽 粽子	
		13:15~14:00	日々新生 ~喜びを味わって生きる~	清水 志郎	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		14:15~15:00	光明の生活法	堀端 芳樹	「日時計主義とは何か?」[光明法語]
		15:00~15:35	「浄円月観」・閉会の祈り	岡田 浩二	
8日 土	魂を解放せよ	10:20~11:05	開会の祈り・無いものは無い! 神のみが実在!	清水 志郎	「日々祈り」[夢の地平線]
		11:15~12:00	神の子の魂を解放せよ	小野 大作	「日々祈り」[夢の地平線]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	喜びの信仰を積み重ねよう	新宮 一	「日々祈り」[夢の地平線]
		14:00~14:45	輝く未来が待っている	樺本 一子	「日々祈り」[夢の地平線]
		14:45~15:20	「実相円満講行」実修・閉会の祈り	樺本 一子	
9日 日	陰極は陽転する	10:20~11:05	開会の祈り・あなたは神の子、執着を解き放て!	樺本 一子	「日々祈り」[夢の地平線]
		11:15~12:00	陰極は陽転する	千羽 真平	「日々祈り」[夢の地平線]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	岡田 多美子	
		13:15~14:00	あなたは必ず幸せになれる	岡田 浩二	「日々祈り」[夢の地平線]
		14:15~15:00	心と運命	堀端 芳樹	「日々祈り」[夢の地平線]
		15:00~15:35	「蓮華日宝王地観」実修・閉会の祈り	岡田 浩二	
15日 土	全ての人・事・物 に感謝しよう	10:20~11:05	開会の祈り・愛は至るところに	清水 志郎	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		11:15~12:00	みんな神の子、すべては神の恵み	鶴岡 俊光	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	どんな境遇の奥にも神の愛がある	小野 大作	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		14:00~14:45	万物に感謝し、全てを生かす	樺本 一子	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		14:45~15:20	「神を讃える神想観」実修・閉会の祈り	樺本 一子	
16日 日	先祖・流産児供養祭	10:20~11:05	開会の祈り・人間は肉体ではない、神の子だ!	岡田 浩二	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		11:15~12:00	喜びの先祖・流産児供養について	堀端 芳樹	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		12:00~13:15	昼食・休憩 ※霊障記載		昼食希望の方はご予約ください
		13:15~13:30	体験談	村上 麻衣	
		13:30~14:15	全ての生命に祝福礼拝	岡田 伊都子	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		14:30~15:15	真の幸福は万物との調和の中に	清水 志郎	「人類同胞大調和六章経」[明るく楽しく人生を]
		15:30~16:30	「先祖・流産児供養祭」(大拝殿)		聖經「天使の言葉」/聖歌詞集
22日 土	祈り合いの神想観	10:20~11:05	開会の祈り・神は常に譲り、導き給う	清水 志郎	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		11:15~12:00	本堂の祈りとは ~神想観は素晴らしい~	新宮 一	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	救われ清みの人生	樺本 一子	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		14:00~14:45	祈りは必ず叶えられる	岡田 浩二	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		14:45~15:20	「祈り合いの神想観」実修・閉会の祈り	岡田 浩二	
23日 日	美しく生きよう	10:20~11:05	開会の祈り・光り輝く神の子の実相	岡田 浩二	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		11:15~12:00	あなたはそのままで美しい	樺本 一子	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	高 千穂	
		13:15~14:00	人生を美しく輝かせよう	清水 志郎	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		14:15~15:00	喜びの三正行	堀端 芳樹	「合本讃歌」[美しく生きよう]
		15:00~15:35	「如意宝珠観」実修・閉会の祈り	樺本 一子	
29日 土	「浄心行」	10:20~11:05	開会の祈り・神の子に罪はない!	樺本 一子	「夢の地平線」[栄える生活365章]
		11:15~12:00	今ここに新たに生まれ ~浄心行の意義・説明~	岡田 浩二	「新しい文明を築こう・中巻」
		12:00~13:00	浄心行用紙記載・昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	藤本 和博	
		13:15~14:00	父母の愛に導かれて	岡田 伊都子	「夢の地平線」[栄える生活365章]
		14:10~15:25	「浄心行」実修・閉会の祈り	清水 志郎	聖經「甘露の法雨」[万物調和六章経]
30日 日	「真理」の道を 真っ直ぐに進む	10:20~11:05	開会の祈り・ 「真理」と「神の子の自分」を拠り所とせよ	岡田 浩二	「夢の地平線」[栄える生活365章]
		11:15~12:00	魂の喜び	阿部 秀輝	「夢の地平線」[栄える生活365章]
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	真理と生活	堀端 芳樹	「夢の地平線」[栄える生活365章]
		14:00~14:50	「真理」の道を真っ直ぐに進む・閉会の祈り	清水 志郎	「夢の地平線」[栄える生活365章]

「ご先祖と共に喜びの一日講話」聴講にぜひお越しください

※参加人数は先着40名までとなっております。

◆お申し込み方法（締切：参加前日まで）

- ・練成部へのお電話(0774-21-2153)にて名前・県名・電話番号・参加希望日等を伝えていただくか、申込フォーム(Facebook及びホームページ、右のQRコードから入れます)にて、必要事項を入力してお申し込みください。

※参加申し込みは参加前日までのみ切となっております。



申込フォーム
QRコード

◆奉納金（昼食代は別途要・ご随意）

大人・1,500円/子供(3歳～12歳)・750円

◆以下の症状に該当する方は参加不可となります

体温37.0度以上の方、咳が出る等体調不良の方

※受付で検温を実施いたします



◆参加に当たっての主な注意事項

- ・本山内ではマスク着用を推奨しております(一枚50円で受付でも販売しています)。
- ・トイレ使用後は石鹸で手洗いをしてください。
- ・受付、会場、食堂、トイレ等の出入りの際は、手のアルコール消毒をください。
- ・ソーシャルディスタンス(約2m)を守り、握手やハグ等の身体的接触は避けてください。

★土日講話参加者の宿泊を受付いたします

◆受付対象者（現時点では以下の方が対象です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。）

- ・土日両日参加し、全講話を受講予定の方
- ・遠方にお住まい等の理由で、両日参加するには宿泊施設を必要とされる方

◆料金

4,500円+土曜日の昼食代(御随意)

(4,500円の内訳は《講話参加費2日分=3,000円》+《参籠費(1泊食事付)=1,500円》です)

◆申し込み方法等

・**宿泊2日前の木曜日の17時までに、お電話（練成部：0774-21-2153）により予約手続きをしてください。**

・土曜日の夜一泊のみ宿泊できます(金曜日からの宿泊はできません)。

・その他詳細につきましては、ホームページまたは右のQRコードより「宿泊案内手引き」をご覧ください。



「宿泊案内手引き」

※宿泊条件等でご相談がありましたら練成部までご連絡ください

★講話参加の際に電車を利用される方に向けまして、京阪宇治駅とJR宇治駅に出迎いのバスを手配いたします。

- ・出発時間：京阪宇治駅9：45発、JR宇治駅9：55発
- ・集合場所：各駅ロータリー

(運転手が「生長の家」のプラカードを持って立っています)

となっております。出迎いは上記時間の1回のみであり、各駅時間となりましたら出発いたします。希望の方は出発時間までに集合場所に来ていただくようお願いいたします。

(※道路の混雑具合等でバスが時間より遅れる可能性もございます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。)

(3頁から続く)した。

やはりこの地に足を踏み入れてこそ受け取れるインスピレーションのようなものがありますね。今後も折あらば縁ある方たちと共に講話の中に浸って浄め続けたいと思っております。

お昼ご飯も、愛情溢れる温かさを感じ感謝申し上げます。講師の方々、エネルギー溢れるご講話有難うございます。また参ります。

K. T (70代)〈女性〉

「一日講話」に参加する度に、薄皮が一枚一枚はがれていくように迷いから解放されている私を発見します。

以前から、台所に立つと時々物忘れがあり悩んでいました。そんな時友人から「物忘れ外来」というのを紹介され、病院に予約しました。

でも「一日講話」に参加すると、その時は「病なし、肉体なし、罪なし」と教えていただいて、ぞうだーそうなんだ!と納得しては、予約をキャンセル。このようなが何回か続いては講話



に参加
身に色々
のことが
降りか
かってき
ては、教
えはどこ
へやら…その都度、動揺が走ります。

今までにいくつもの体験をし、この世界で起こってくることは悪くなることは一つもなく、常に神に護られていることを実感して神に感謝する私でしたが、今回講話の中で「信じているつもりで、そこに鈍さが現れてくる」と言われたとき、正しくわたしのことだった!と気づきました。講話の意味が同じでも、講師の言葉の表現が違って、大きな気づきになります。

今このことが私にはとても新鮮で、大発見した私に自分で自分を讃嘆でき心が沸き立ちます。

□口ナ感染真つ最中でも「一日講話」を続けてくださったことに心から感謝申し上げます。このご愛念に応えたく、これからも参加して、明るく楽しく輝

いている自分を持ち続けたく決意しました。

H. I (30代)〈女性〉

四月に乳がんと診断され、明日から抗がん剤治療が始まるので、その前には是非来たいと思い、宇治に足を運びました。講話を聴いていると、安心の心と悦びが湧いてきます。知ってはいいても、つい日常生活の中で現象にとらわれて不安になります。

でも、今日講話を通して「あゝ私は愛されているのだ」「祝福されていたんだ」と、とても嬉しくなりました。

現象に現れている肉体の症状ばかりに目が行き、不安になりますが、「ないものは無い!」と打ち消して、日常生活にあっても「完全のみある!」「神の子なのだ!」と、本当の姿の方に目を向けて行きます。

私には、できない自分、ダメな自分を責めてしまう癖がありますが、そんな自分も又、ないのであると心に染み入りました。「生命がある。生かされて



生長の
家に縁の
あるこの
家を選ん
で生まれ
てくれた

いる」ということが神の子ということ。それを忘れず、治療を神にお任せします。神様目線で見れば、今私は幸せなのです。
また宇治に来ます。本日も導かれてここに來たことを感謝いたします。

R. O (30代) <女性>

いつも神様、ご先祖様、父母に愛され、護られ、導かれているこの生命を喜びたいです。

この年まで様々なことを経験して來ましたが、今思うと「護られているなあ、導かれているなあ」と感じることばかりで、どんな時も生長の家の御教えが側にありました。そして御教えのおかげで、問題が起きてきても、その問題に感謝することが出来ました。

ことがどれ程幸せなことか。私は自分の人生が大好きです。今が嬉しく、楽しく、幸せです。

これからも愛され生かされている神の子の生命を伸び伸びと表現して、多くのひと、こと、もののお役に立てる人生を歩んで行きます。

また「この素晴らしい御教えを周りの人たちに伝えたい！」が、いつの間にか「伝えないといけない！」という苦しいものになっていったことに気づきました。

生命は一体だから、自己讃嘆も愛行も同じで、どちらから始めてもいいのだと教えていただきました。心が軽くなりました。やっぱり生長の家の信仰生活は嬉しくて、楽しいものでした。有難うございました。

I. D (60代) <女性>

三年ぶりの宇治でのご講話を拝聴して、嬉しくて嬉しくて：やはり宇治は魂のふるさとです。

今日のご講話で一番強く思ったこと



は「神様に
付度なく
というこ
とです。私は
神様に遠慮
していると

気づきました。

「祈り合いの神想観」で祈っていただ
く方に座らせていただき、瞑目合掌の
うちに「私は本当に神様を疑っていま
した。神様に遠慮していました。申し
訳ありません」とお詫びしました。「神
様の温かい柔らかい懐の中で、私は悦
びだけの私でした。ずっと、ずっとと
悦びだけの私です」と心の中で宣言し
ました。

幼い孫たちのエネルギーがあんなに
強くて光り輝いているのは、そのま
ま、だからだと驚きました。

「私も内なる神を信じて、そのまま
生きていこう」という確信にまで押し
上げていただいた、輝ける一日となり
ました。

二日目の講話を聴いて一番感じたこ
とは「わかった！」ということ以上に

「私が浄まっている」ということでした。私の中にたまっていたゴミ、あくたが抜け落ちていくような感じがして、本当に有難い「一日講話」でした。

S. I (60代) (女性)

今日は色々な講師の方から人間が「神の子」であることの素晴らしさをお話ししていただきました。今まで私は「人間が神の子ですばらしい」ということがわかりませんでした。

現象に現れている生命の躍動(細胞が分裂して殖えていくなど)を見て、ああ神様が生命を創造されているという感動は味わったことはありませんが、自分が神の子であることの何が嬉しいのか、私の意識と違つところに実相の私がいるのが何故嬉しいのかが全く解りませんでした。



でも今回の講話を聴いてるうちに

に、全ての御徳を備え、無限の力を持つていらつしやる神が自分の本質であるから、自分もすばらしい存在で、それを認めることによって現れるということに納得できました。

榎本講師が講話で「全ての付度を捨てて、幼児のように神様に甘えなさい」と言われているのを聴き、「神様って親のように優しい存在なのだ」と嬉しい気持ちになりました。

周りのすべての人を「神の子」として観ることから始めれば、皆その本来性を顕現することが納得できたので、今回宇治に來させてもらったことに心から感謝したいと思います。

Y. U (40代) (女性)

やはり宇治は、魂のふるさとでした。心がほどけて、喜びがあふれる時間でした。このタイミングで私はここに來るべきだったんだと感じ、導かれ、護られていることを実感しました。一つ一つの講話、体験談の中に、必ず深く自分の心に響く言葉があり、講師から個人



指導もしていただき、これから具体的にどう生活して

いかがが明確になってとても楽になりました。「こうしなくてはいけない」という力みがフツと抜けて、常に私は満たされていて、愛されていて、讃嘆されているイメージが入ってきました。

元々夫婦の魂は一つだから、自分が楽しく喜んで生きていけると皆が幸せになる。光を広げていけるのだと改めて思い、幸せを遠慮なく受け取つていこうと思えました。

。まず相手は神の子だから、肯定することからはじめる

。常に愛と讃嘆と幸福を受け取つて満たされていることを感じていくこと。どんな感情も言動も全て生命の、光りの表れだと感謝する

この三つを先ずは実践してみます。有難つございました。

E. A (30代) (女性)

今までは心を整えることが大事だと思っておりましたが、自分の実相の生命を喜ぶことが大切なのだと気づきを頂きました。なかなか自分自身を神様にゆだねることができているつもりでどこかまだ疑う気持ちがあったのかもしれません。

どの講話もすばらしく学びのある内容でしたが、皆でする笑いの練習がとても気持ちよく、一回目より二回目、二回目より三回目と少しずつ自分をオープンにして笑うことが出来ました。笑いの先導をしてくださる司会の方の振り切った掛け声がとても気持ちよく後押しをしていただけ感じがします。食堂の方もやさしく声をかけてくださったり、大安心の空間の中で、一日中学びの講話を受けられたことに感謝いたします。

家に帰っても、三正行を少しずつ自分のできる所から取り組んで行って、愛と光の世界のすばらしさを実感して

いきたいと思えます。本日は有難うございました。

T. K (60代) (女性)

私は母がずっと生長の家の信徒だったので、子供の頃からこの教えに触れていました。

でも私は本を読ませていただいたり、練成会に参加させていただくことがあ

るくらいでした。結婚、そして離婚して、三人の子供を育てながら保育士として働いてきましたが、何故か自分は幸せになつてはいけないというような気がずっとしていました。

宇治別格本山

研修生感想文

J. Z (40代) (男性)



思いが湧いてきました。有難うございました。

六月九日から再入山し、二度目の研修生をさせていただきました。

本日の講話で一番印象に残ったのは、岡田伊都子講師のご講話でした。

今日の講話を聴いているうちに、今まで周囲の人たちに恵まれてきていたお蔭で生きてこられたことを感謝しつつも、「人間は苦勞しなければ幸せにならない」と思い込んでいたことに気が付きました。そうではなかったんですね。

今までの人生も「これでよかったのだ」と思うと、心が軽くなりました。「これでよくなる。すべてよくなる」とい

厳しい上司との関係に悩んでいた新入社員の方が「和解の祈り」を実践され、自分が相手に感謝出来るようになったとき、自然と自分の本来望んで

いた部署に転属することが出来、またその「明るい心の波長」で結婚までも成就したというお話でした。

そして、最後にはその厳しかった上司が自分に感謝してくれていて、自分を一番信頼してくれていたということでした。

何故このお話が一番印象に残ったかという、現在の私の状況にとっても似ているからです。

今の私はまだその状況を克服し、感謝出来る心境にまで達してはいないのですが、研修生活を通して、相手ではなく自分を変えていくための祈りをしているかと思っています。

講師から「浄円月観」の神想観を行じて、自分の雰囲気柔らかくなれば「敵がいなくなる」と教えていただきました。



今の状態でもわかることは、「相手は自分の内面を映

し出してくれている鏡である」ということです。

まずは講師から教えていただいた



〈神癒祈願のお礼状〉

神癒祈願で娘家族が幸せに

M. R 〈女性〉

いつも神癒祈願では大変お世話になっております。お陰様で私たち家族も皆、毎日元気に過ごさせていたたいております。昨年お願いしました娘の夫婦調和、家庭円満も整い、家族円満に過ごしております。生長の家の大神様、宇治別格本山の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

「基本的な神想観」と「浄円月観」を行じていきたいと思います。

長男が脳梗塞から復帰

H. I 〈女性〉

早速に人型をお送りくださり、感謝致します。長男が仕事中に倒れ、救急車で病院に運ばれました。医師の診察の結果、脳梗塞と診断されました。これから入院して血圧を下げ、血流をよくする薬で治療し様子を見て、リハビリ病院へ転移することでした。毎日疲れたと言っていたので、ゴールデンウィークと重なって休養の時間を与えられたと、心配一つせず私の心は穏やかでした。

入院二日目にはスマホで会話ができ、本人曰く普通の健康な状態とのことで「神様ありがとっございます」と何回も感謝しました。四日目になると回診が

あり、医師も驚くほどの回復だったそうで、一週間で退院できました。

今、教区では聖使命会員の拡大を推進しており、五月から息子を特志会員にさせていただきました。今回も全てが神様の御心の如く、大きな力が働いたのではないかと思えます。息子はゴールデンウィーク明けから仕事に復帰しています。

平常の生活ができて健康の有難さを日々痛感しております。ありがとございまして。

孫が国立大学に合格

K. S (女性)

三月に孫の大学合格の神癒祈願をしました。三月下旬に、後期試験に合格しました。その大学は、思いがけず私たち夫婦の住んでいる近くにあり、神様のお導きの不思議さに感動しました。只々嬉しく、今は同居して元気に大学へ通っております。若い力を、この田

舎の家に迎え入れられたことに感謝の毎日でございます。祈ってください。皆様へ感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

宇治別格本山の益々のご健勝をお祈り致します。



〈写経のお礼状〉

肺がん手術成功

N. Y (女性)

知人の肺がん手術のために写経を祈願しました。医療センターでの手術は成功。膿を出すための管につながれていましたが、膿も出ず、出血もなく、翌日には体中の管は取れて、リハビリに入り、術後十二日で退院できました。家に戻ったら、庭掃除までできるほど

に回復しました。知人には手術前に聖典を送り、私は手術の成功を祈りながら写経を続け、毎日聖経を読みました。神様の導きに感謝しております。

孫の就職先が決定

M. K (女性)

一年前より就活中だった孫のことで写経祈願を申し込みさせていただきました。お陰様で就職が決まったと孫から喜びの報告がありました。孫によると、自分がしたいと思っていた仕事で、本当に不思議なことが重なったと喜んでおります。

お世話になる会社は海外に二十ヶ所の拠点がある、コンピュータソフト関連会社だそうです。本当に素晴らしい会社にご縁を頂き、六月から出勤とことです。祈願の言葉通り孫の天分が生かされ、多くの人のお役に立ち、生命が発揮されて仕事させていただけましたことを感謝申し上げます。

◆ 7月 宇治別格本山で行われる行事 ◆

- 11日(火) 10:00～ 自然災害並びに
世界規模感染症慰霊塔月次祭
- 13日(木) 10:00～ 宝蔵神社月次祭
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭
- 16日(日) 15:30～ 先祖・流産児供養祭 ※参列可
- 19日(水) 10:00～ 末一稲荷神社月次祭
精霊招魂神社月次祭



※「先祖・流産児供養祭」以外はすべて無参列となっております。
参列はご遠慮ください。

「先祖・流産児供養祭」は「ご先祖と共に悦びの一日講話」における行事として開催されますが、一日講話に参加されていない方でもご参列いただけます。ぜひご参列ください。
※供養祭における霊牌奉納をご希望の方は、当日午後2時30分までに大拝殿1階お受け所までお出してください。

★オンライン個人指導(無料)のご案内★



時間 : 9:20～12:00、13:00～16:00

※お申し込みにより日程を調節します

担当講師：清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補
岡田浩二本部講師補

(担当講師のご希望はお受けできません)

使用媒体：Zoomまたはメッセージ

お申し込み方法：

メールアドレス rensei@uji-sni.jp、または
Facebookページ「生長の家宇治別格本山」までメ
ッセージをお願い致します。メッセージにお名前・
電話番号・ご希望日時を記入し、ご送信ください。
担当講師等の連絡事項を返信いたします。



練成会は、
“令和5年7月まで中止”
が決定しております。
再開につきましては、ホ
ムページまたFacebookで
確認するか、お電話でお問
い合わせください。



宗教学 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。